

石井林響展

生誕135年

Ishii Rinkyō:

Leading Nihonga Artist from Chiba, 135 Years since his Birth



千葉に出づる風雲児

石井林響《童女の姿となりて》明治39年 東京都現代美術館蔵

南画の気持ちをもつて写実を馳駆せんとし、また馳駆し得て余りあるの才気才筆は、西に関雪あり、東に林響ありと叫ばしめざるを得ない

Leading Nihonga Artist from Chiba, 135 Years since his Birth



石井林響展

生誕135年

Ishii Rinkyō:

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

11.23 (金・祝)

2018 開館時間: 10:00~18:00 (金・土曜日は20:00まで)

*入場受付は閉館の30分前まで
休館日: 12月3日(月)、12月29日~1月3日

2019 1.14 (月・祝)

観覧料: 一般 1200 (960) 円、大学生 700 (560) 円

※小・中学生、高校生、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※()内は前売り、団体20名以上、市内在住65歳以上の方の料金 ※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(11月11日まで)、ローソンチケット(Lコード:31517)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて11月22日まで販売(11月23日以降は当日券販売)

主催: 千葉市美術館 石井林響《野趣二題(池中の舞)(枝間の歌)》昭和2年 東京都立近代美術館蔵

11.23 (金・祝)

2018

2019 1.14 (月・祝)

関連企画

講演会

「石井林響と房総の支援者たち」

講師：堀内瑞子（城西国際大学水田美術館学芸員）

12月2日（日）14:00～（13:30開場予定）／11階講堂にて

先着150名／聴講無料

市民美術講座

「石井林響に惚れ直す―林響の愛したものとともに―」

講師：松尾知子（当館上席学芸員）

12月16日（日）14:00～（13:30開場予定）／11階講堂にて

先着150名／聴講無料

ワークショップ

素材であそぶ vol.2「箔」（事前申込制）

金箔・銀箔・銅箔。日本でも古くから使われ、画面を華やかに彩る「箔」素材。その基本的な特徴や技法を体験しながら、「箔」の魅力に触れていきます。

講師：坪田純哉（日本画家）

12月15日（土）13:30～16:30／11階講堂にて

定員15名（対象：中学生以上）／参加費2000円（材料代）

【申込方法】

往復はがきまたは当館ホームページからお申し込みください。往復はがきの場合は、郵便番号・住所・電話番号（当日連絡可能なもの）・参加人数（2名まで）・氏名と年齢（参加者全員分）を明記の上、〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 イベント係まで。

※申込締切 12月5日（水）必着 応募多数の場合は抽選

ギャラリートーク

担当学芸員による 11月28日（水）14:00～

ボランティアスタッフによる 会期中の毎週水曜日（11月28日を除く）

※水曜日以外の平日の14:00などにも開催することがあります。混雑時には中止する場合があります。

新春の獅子舞

1月5日（土）10:00の開場時には、8階会場入口で獅子舞がお迎えします。

出演：登渡神社登戸神楽囃子連

新春 千葉のうまいもん！市

1月12日（土）11:00～15:00／1階さや堂ホールにて

好評であった千葉の「うまいもん」を集めたイベントの新春バージョン。林響の生きた時代（昭和2年）に竣工したモダン銀行建築の空間で、お食事やお買い物をお楽しみください。

【同時開催】

所蔵作品展「林響の周辺」

林響も親しみ学んだ江戸時代絵画や、同時代の周辺の絵画、千葉ゆかりの作品などを展示します。

※「生誕135年 石井林響展」をご観覧の方は無料

【次回展予告】

「ブラティスラヴァ世界絵本原画展―BIBで出会う絵本のいま―」

2019年1月20日（日）～3月3日（日）

「現代の盛沢山、細密描写の全盛な時に当たって略画号の生まれたことが大いなる皮肉であり、大なる教訓でもあるを嬉しく思います。」

——石井林響「簡画のこと」(『アトリエ』第3巻第1号「略畫号」 大正15年1月)

Ishii Rinkyō:

Leading Nihonga Artist from Chiba, 135 Years since his Birth



石井林響（生年没年不明）という、明治大正の時代を駆け抜けた日本画家がいました。千葉県山武郡土気本郷町（現千葉市）生まれ、東京で橋本雅邦入門、はじめは「天風」の名で若くして頭角をあらわし、歴史画から色鮮やかな風景画や田園風俗画へと画風を大きく展開させながら、画壇への刺激や示唆を与え続けた熱血漢でした。「どここの展覧会でも光っていた」と言われる活躍をし、帝展の委員となるなど地位も築きますが、「林響」と号を変えた大正の半ばからは次第に「野に帰る心



地」となり、大正15年、郷里に近い千葉の大網宮谷に画房「白閑亭」を築いて移住。新たな画境へ進み始めたところでしたが忽然と、45歳の若さで急逝しました。しかしその才筆と気概は、画人たちや房総の人々にも大きな存在感を遺しています。本展では新たな資料と視点を交えて画業の全容を回顧、文人画への傾倒などを通じて「野人林響」が追い求めた理想の世界を探り、今の時代にこそ見直してみたい、その魅力をあらためて広く紹介します。

① 石井天風《木霊聞耶姫》 明治39年 千葉県立美術館蔵

② 石井天風《王者の瑞》 大正7年 千葉市美術館蔵

③ 石井林響《総南の旅から 仁右衛門島・隧道口・砂丘の夕》 大正10年 山種美術館蔵（展示期間：11月23日～12月20日）

④ 石井林響《薄暮》 大正末 佐野市立吉澤記念美術館蔵

⑤ 石井林響《虎図》 大正13年 千葉市美術館蔵

⑥ 石井林響《鬼月図》 大正9年 浜松市秋野不矩美術館蔵

⑦ 石井林響《鍾馗》 大正14年 千葉市美術館蔵

林響が一時期所有していた石濤の《黄山八勝画冊》も出品！

この珠玉の名冊に心揺さぶられた画家たちの動きと、林響による新しい価値観の提唱をたどります。

重要文化財の特別出品

石濤《黄山八勝画冊》 中国・清時代 泉屋博古館蔵（重要文化財）（会期中展示場面の頁替えを行います）



【交通案内】
 □ JR千葉駅東口より
 徒歩約15分／千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分／バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分／バスのりば16番よりC-busにて「中央区役所・千葉市美術館前」下車
 □ 京成千葉中央駅東口より 徒歩約10分
 □ 東京方面から車では、京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
 ※千葉市中央区役所と同じ建物です。
 ※地下に、区役所と共用の機械式駐車場がありますが、混雑時にご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関での来館をお願いします。

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
 電話 043-221-2311(代表) FAX 043-221-2316
<http://www.ccma-net.jp>

おなまえ割引

姓が「石井」の方、あるいは名前に「天」「風」「林」「響」がつく方は、観覧料を2割引（団体料金）いたします。姓名のわかるものを受付でご提示下さい。

割引情報

ワンドリンクつきチケット 11階レストランかほちゃわいんでワンドリンクをお楽しみいただけるお得なチケット（観覧料込み1500円）を受付で販売します。（千葉県産落花生などプチおつまみ付き）

※いずれも他の割引とは併用できません。